

失語症リハビリテーション治療学特論

[講義] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 田村 至 tamurait@hoku-iryo-u.ac.jp 若松千裕

【概要】

失語症の症候、病態の基礎知識をもとに失語症の評価方法、治療について学ぶ。

【学修目標】

一般目標：失語症に関する最新の理論について学ぶ。

行動目標：

1. 失語症の症候と診断の要点を説明できる。
2. 失語症の評価法を列挙できる。
3. 失語症の治療理論、治療法を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～8	失語症の理論と治療	失語症の症候、病態、評価法、治療法について学ぶ	田村 至
9～15	失語症の障害機構と治療理論	失語症の障害メカニズムを理解し、症状の分析やリハビリテーションについて学ぶ。	若松千裕

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート50%、平常点50%

【教科書】

使用しない

【学修の準備】

基本的知識について文献を読んで予習をする。（80分）

講義で使用した資料、討議内容を復習する。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得するというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

田村 至、若松千裕（言語聴覚士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床経験に基づく講義を行う。